

平成 23 年 東日本大震災における避難行動等に
関する面接調査票
(避難支援者)

地震・津波時の避難行動に関するヒアリング調査内容 (工場等対象)

(1)基礎情報(平成23年3月11日現在でお答え下さい)

問1:

貴社の従業員数(正社員、パート、アルバイト)を教えてください。

問2:

貴社では、防災について担当する職員はいますか。

問3:

災害時における貴社内の連絡体制や工場従業員等への連絡体制、避難に関する取り決め事項を教えてください。また、その中で津波災害を考慮した事項があれば教えてください。

問4:

非常電源設備についてお聞きします。

- 非常用発電機は設置していますか。
- 設置している場合、何台ありますか。また、どこに設置していますか。
- 非常時に全体の電力のうち、どの程度カバーできるものですか。
- 今回、地震による停電が起きましたが、非常用発電機は機能しましたか(運転時間等)。
- その他、工場の災害対策等はありませんか。

(2)被災状況

問1:

3月11日14時46分頃に地震が発生しましたが、貴社では、地震発生からどのくらい経過した後、に停電しましたか。

問2:

当日、勤務されていた従業員や貴社の建物の被害についてお聞きします。

(1)当日、勤務されていた従業員の方の被害についてお聞きします。

- 当日、勤務されていた従業員の方に被害はありましたか。
- 死亡・行方不明・ケガ等の状況について教えてください。

(2)建物の被害についてお聞きします。

- 貴社に被害はありましたか。地震による被害、津波による被害について教えてください。
- 被害のあった建物では、津波はどのくらいの高さ(m)まで来ましたか。それは建物の何階部分に相当しますか。
- 被害にあった建物の構造及び階数を教えてください。

(3)情報入手・伝達

問1:

「緊急地震速報」についてお聞きします。

- 緊急地震速報が発表されましたが、入手しましたか。入手していない場合は、その理由を教えてください。
- どのような手段で入手しましたか。(ex.携帯電話、テレビ、緊急地震速報機器など)
- 入手された方にお聞きします。緊急地震速報を入手した後、どのような行動をしましたか。

問2:

「地震情報(震度、マグニチュード、震源等)」についてお聞きします。

- 気象庁から地震情報が発表されましたが、その情報を入手しましたか。入手していない場合は、その理由を教えてください。
- どのような手段で入手しましたか。(ex.携帯電話、テレビ、ラジオなど)

問3:

「津波情報」についてお聞きします。

- 地震発生から約3分後に「大津波警報」が発表されていますが、貴社では、どんな手段でその情報を入手しましたか。また、そのうち一番最初にどこから入手しましたか。
(ex.テレビ、ラジオ、防災行政無線、携帯電話(iモード等)、携帯電話(ワンセグ)など)

- 入手した「津波情報」の内容について教えてください。

	岩手県	宮城県	福島県
津波警報	大津波	大津波	大津波
第1波到達 予想時刻	到達と推測	午後3:00	午後3:10
予想される 津波の高さ	3m	6m	3m

- 気象庁が発表した「津波情報」は、数回にわたり情報が更新されました。その情報についてお聞きします。
 - ① 更新された津波情報を入手しましたか。
 - ② 入手した情報において、予想される津波の高さは何m(または何m以上)でしたか。

	岩手県	宮城県	福島県
1回目	3m	6m	3m
2回目	6m	10m以上	6m
3回目	10m以上	10m以上	10m以上

問4:

地震が発生した後に自治体が防災無線(屋外、戸別)で呼びかけをしていますが、その呼びかけを聞きましたか。それはどのような内容でしたか(例:津波警報等、避難勧告・指示等)。

問5:

防災無線を聞いた方にお聞きします。

- 防災無線を聞いた後、どのような行動をしましたか。

問6:

これらの地震情報や津波情報等について、工場内に伝えましたか。伝えた場合は、どのような手段でつたえたのかを教えてください。

(4)避難行動及び避難誘導

問1:

避難の誘導についてお聞きします。

- 貴社では、地震が発生した時や津波警報が発表された時、職員や工場従業員に対して避難の誘導をすることになっていましたか(規程等がありましたか)。
- 無い場合は、策定する予定がありましたか。

問2:

避難誘導の規程と実際にされた行動についてお聞きします。(避難誘導の規程がない場合、実際にされた行動についてお答え下さい。)

- 避難の誘導は、どのようなタイミングで開始することになっていましたか。
- 誘導者を決めていましたか(部署毎、フロア毎など)。
- 避難の手段を決めていましたか。(例:徒歩、自家用車、社用車等)
- 従業員同士のやり取りは、どのような手段を用いて行うことになっていましたか。今回、双方のやり取りに障害はありませんでしたか。
- 避難先を決めていましたか。今回、その場所へ避難しましたか。
- (例:自社の上階または屋上、自治体の指定避難場所、周辺の高台等)
- 避難誘導の際、車の渋滞や瓦礫の発生など、避難の障害になるものはありましたか。
- 避難誘導、避難行動中に津波に関する情報(津波警報や観測情報など)は入手できていましたか。

たか。入手できていない場合、入手できないことで問題はありましたか。

問3:

当初避難した場所から更に違う場所に避難された場合にお聞きします。

- 違う場所へ避難すると判断した理由は何ですか。

(5)地震や津波の経験

問1:

平成22年2月28日にチリ中部沿岸を震源とする地震が発生し、津波警報（大津波）が発表されましたが、その時の対応について教えてください。

問2:

今回の地震の2日前（3月9日）に三陸沖地震が発生し、津波注意報が発表されましたが、その時の対応について教えてください。

問3:

過去の津波経験が、今回の避難誘導や防災活動に影響を与えたと思いますか。また、その経験はどのように働きましたか。

(6)津波発生前の防災活動

問1:

災害時における自治体や地域との連携体制はどのようになっていますか。津波災害における連携体制も考えていましたか。

問2:

自治体が作成している「津波ハザードマップ」を知っていますか。
津波ハザードマップをどのように活用していましたか。

問3:

津波避難訓練や津波防災に関する研修についてお聞きします。

- 貴社では、津波避難訓練や津波防災に関する研修などを実施していましたか。
- 津波避難訓練の内容について教えてください。
- 訓練と今回の対応で違いはありましたか。今後必要だと考える訓練内容はどのようなことですか。

問4:

今回の震災において、これまで行ってきた取り組みの効果があつた事例があれば教えてください。

(7)今後の課題

問1:

今回の震災を受けて、今後、準備をしておくべきことがあれば教えてください。（資機材、情報等）

問2:

今回の震災を受けて、今後の津波対策にはどのようなことが必要だと考えていますか。

ご協力いただき、誠にありがとうございました。

地震・津波時の避難行動等に関するヒアリング調査内容 (漁業協同組合等)

(1)基礎情報(平成23年3月11日現在でお答え下さい)

問1:

貴社の従業員数(正社員、パート、アルバイト)を教えてください。

問2:

貴社では、防災について担当する人はいますか。

問3:

災害時における貴社内の連絡体制や従業員・漁業者への連絡体制、避難に関する取り決め事項を教えてください。また、その中で津波災害を考慮した事項があれば教えてください。

問4:

非常電源設備についてお聞きします。

- 非常用発電機を設置していますか。
- 設置している場合、何台ありますか。また、どこに設置していますか。
- 非常時に全体の電力のうち、どの程度カバーできるものですか。
- 今回、地震による停電が起きましたが、非常用発電機は機能しましたか(運転時間等)。

(2)被災状況

問1:

3月11日14時46分頃に地震が発生しましたが、貴社では、地震発生からどのくらい経過した後、に停電しましたか。

問2:

当日、勤務されていた従業員や貴社の建物の被害についてお聞きします。

(1)当日、勤務されていた従業員の方の被害についてお聞きします。

- 当日、勤務されていた従業員の方に被害はありましたか。
- 死亡・行方不明・ケガ等の状況について教えてください。

(2)建物の被害についてお聞きします。

- 貴社に被害はありましたか。地震による被害、津波による被害について教えてください。
- 被害のあった建物では、津波はどのくらいの高さ(m)まで来ましたか。それは建物の何階部分に相当しますか。
- 被害にあった建物の構造及び階数について教えてください。

(3)情報入手・伝達

問1:

「緊急地震速報」についてお聞きします。

- 緊急地震速報が発表されましたが、入手しましたか。入手していない場合は、その理由を教えてください。
- どのような手段で入手しましたか。(ex.携帯電話、テレビ、緊急地震速報機器など)
- 入手された方にお聞きします。緊急地震速報を入手した後、どのような行動をしましたか。

問2:

「地震情報(震度、マグニチュード、震源等)」についてお聞きします。

- 気象庁から地震情報が発表されましたが、その情報を入手しましたか。入手していない場合は、その理由を教えてください。
- どのような手段で入手しましたか。(ex.携帯電話、テレビ、ラジオなど)

問3:

「津波情報」についてお聞きします。

- 地震発生から約3分後に「大津波警報」が発表されていますが、貴社では、どんな手段でそ

の情報を入手しましたか。また、そのうち一番最初にどこから入手しましたか。
 (ex.テレビ、ラジオ、防災行政無線、携帯電話 (i モード等)、携帯電話 (ワンセグ) など)

- 入手した「津波情報」の内容について教えてください。

	岩手県	宮城県	福島県
津波警報	大津波	大津波	大津波
第1波到達 予想時刻	到達と推測	午後 3:00	午後 3:10
予想される 津波の高さ	3m	6m	3m

- 気象庁が発表した「津波情報」は、数回にわたり情報が更新されました。その情報についてお聞きします。

- ① 更新された津波情報を入手しましたか。
- ② 入手した情報において、予想される津波の高さは何m (または何m以上) でしたか。

	岩手県	宮城県	福島県
1回目	3m	6m	3m
2回目	6m	10m以上	6m
3回目	10m以上	10m以上	10m以上

問4:

地震が発生した後に自治体が防災無線 (屋外、戸別) で呼びかけをしていますが、その呼びかけを聞きましたか。それはどのような内容でしたか (例: 津波警報等、避難勧告・指示等)。

問5:

防災無線を聞いた場合にお聞きします。

- 防災無線を聞いた後、どのような行動をしましたか。

問6:

これらの地震情報や津波情報について、組合員に伝えましたか。伝えた場合は、どのような手段で伝えたのかを教えてください。

(4)避難行動及び避難誘導

問1:

避難の誘導についてお聞きします。

- 貴社では、地震が発生した時や津波警報が発表された時、従業員や漁業関係者等に対して避難の誘導をすることになっていましたか (規程等がありましたか)。
- 無い場合は、策定する予定がありましたか。

問2:

避難誘導の規程と実際にされた行動についてお聞きします。(避難誘導の規程がない場合、実際にされた行動についてお答え下さい。)

- 避難の誘導は、どのようなタイミングで開始することになっていましたか。
- 誘導者を決めていましたか (部署毎、フロア毎など)。
- 避難の手段を決めていましたか。(例: 徒歩、自家用車、社用車 等)
- 従業員同士のやり取りは、どのような手段を用いて行うことになっていましたか。今回、双方のやり取りに障害はありませんでしたか。
- 避難先を決めていましたか。今回、その場所へ避難しましたか。
- (例: 自社の上階または屋上、自治体の指定避難場所、周辺の高台 等)
- 避難誘導の際、車の渋滞や瓦礫の発生など、避難の障害になるものはありましたか。
- 避難誘導、避難行動中に津波に関する情報 (津波警報や観測情報など) は入手できていましたか。

たか。入手できていない場合、入手できないことで問題はありましたか。

問3:

当初避難した場所から更に違う場所に避難された場合にお聞きします。

- 違う場所へ避難すると判断した理由は何ですか。

(5)地震や津波の経験

問1:

平成 22 年 2 月 28 日にチリ中部沿岸を震源とする地震が発生し、津波警報（大津波）が発表されましたが、その時の対応について教えてください。

問2:

今回の地震の 2 日前（3 月 9 日）に三陸沖地震が発生し、津波注意報が発表されましたが、その時の対応について教えてください。

問3:

過去の津波経験が、今回の避難誘導や防災活動に影響を与えたと思いますか。また、その経験はどのように働きましたか。

(6)津波発生前の防災活動

問1:

災害時における自治体や地域との連携体制はどのようになっていますか。津波災害における連携体制も考えていましたか。

問2:

自治体が作成している「津波ハザードマップ」知っていますか。

- 津波ハザードマップをどのように活用していましたか。

問3:

津波避難訓練や津波防災に関する研修についてお聞きします。

- 貴社では、津波避難訓練や津波防災に関する研修などを実施していましたか。
- 津波避難訓練の内容について教えてください。
- 訓練と実際の対応で違いはありましたか。今後必要だと考える訓練内容はどのようなことですか。

問4:

今回の震災において、これまで行ってきた取り組みの効果があつた事例があれば教えてください。

(7)今後の課題

問1:

今回の震災を受けて、今後、準備をしておくべきことがあれば教えてください。（資機材、情報等）

問2:

今回の震災を受けて、今後の津波対策にはどのようなことが必要だと考えていますか。

ご協力いただき、誠にありがとうございました。

地震・津波時の避難行動等に関するヒアリング調査内容 (サービス業等対象)

(1)基礎情報(平成23年3月11日現在でお答え下さい)

問1:

貴社の従業員数(正社員、パート、アルバイト)を教えてください。

問2:

貴社では、防災について担当する職員はいますか。

問3:

災害時における貴社内の連絡体制や従業員やお客様への連絡体制、避難に関する取り決め事項を教えてください。また、その中で津波災害を考慮した事項があれば教えてください。

問4:

非常電源設備についてお聞きします。

- 非常用発電機を設置していますか。
- 設置している場合、何台ありますか。また、どこに設置していますか。
- 非常時に全体の電力のうち、どの程度カバーできるものですか。
- 今回、地震による停電が起きましたが、非常用発電機は機能しましたか(運転時間等)。

(2)被災状況

問1:

3月11日14時46分頃に地震が発生しましたが、貴社では、地震発生からどのくらい経過した後、に停電しましたか。

問2:

当日、勤務されていた従業員や貴社の建物の被害についてお聞きします。

(1)当日、勤務されていた従業員の方の被害についてお聞きします。

- 当日、勤務されていた従業員の方に被害はありましたか。
- 死亡・行方不明・ケガ等の状況について教えてください。

(2)建物の被害についてお聞きします。

- 貴社に被害はありましたか。地震による被害、津波による被害について教えてください。
- 被害のあった建物では、津波はどのくらいの高さ(m)まで来ましたか。それは建物の何階部分に相当しますか。
- 被害にあった建物の構造及び階数について教えてください。

(3)情報入手・伝達

問1:

「緊急地震速報」についてお聞きします。

- 緊急地震速報が発表されましたが、入手しましたか。入手していない場合は、その理由を教えてください。
- どのような手段で入手しましたか。(ex.携帯電話、テレビ、緊急地震速報機器など)
- 入手された方にお聞きします。緊急地震速報を入手した後、どのような行動をしましたか。

問2:

「地震情報(震度、マグニチュード、震源等)」についてお聞きします。

- 気象庁から地震情報が発表されましたが、その情報を入手しましたか。入手していない場合は、その理由を教えてください。
- どのような手段で入手しましたか。(ex.携帯電話、テレビ、ラジオなど)

問3:

「津波情報」についてお聞きします。

- 地震発生から約3分後に「大津波警報」が発表されていますが、貴社では、どんな手段でそ

の情報を入手しましたか、また、そのうち一番最初にどこから入手しましたか。
 (ex.テレビ、ラジオ、防災行政無線、携帯電話 (i モード等) ,携帯電話 (ワンセグ) など)

- 入手した「津波情報」の内容について教えてください。

	岩手県	宮城県	福島県
津波警報	大津波	大津波	大津波
第1波到達 予想時刻	到達と推測	午後 3:00	午後 3:10
予想される 津波の高さ	3m	6m	3m

- 気象庁が発表した「津波情報」は、数回にわたり情報が更新されました。その情報についてお聞きします。

- ① 更新された津波情報を入手しましたか。
- ② 入手した情報において、予想される津波の高さは何m (または何m以上) でしたか。

	岩手県	宮城県	福島県
1回目	3m	6m	3m
2回目	6m	10m以上	6m
3回目	10m以上	10m以上	10m以上

問4:

地震が発生した後に自治体が防災無線 (屋外、戸別) で呼びかけをしていますが、その呼びかけを聞きましたか。それはどのような内容でしたか (例: 津波警報等、避難勧告・指示等)。

問5:

防災無線を聞いた場合にお聞きします。

- 防災無線を聞いた後、どのような行動をしましたか。

問6:

これらの地震情報や津波情報について、館内のお客に伝えましたか。伝えた場合は、どのような手段で伝えたのかを教えてください。

(4)避難行動及び避難支援

問1:

避難の誘導についてお聞きします。

- 貴社では、地震が発生した時や津波警報が発表された時、従業員やお客様に対して避難の誘導をすることになっていましたか (規程等がありましたか)。
- 無い場合は、策定する予定がありましたか。

問2:

避難誘導の規程と実際にされた行動についてお聞きします。(避難誘導の規程がない場合、実際にされた行動についてお答え下さい。)

- 避難の誘導は、どのようなタイミングで開始することになっていましたか。
- 誘導者を決めていましたか (部署毎、フロア毎など)。
- 避難の手段を決めていましたか。(例: 徒歩、自家用車、社用車 等)
- 従業員同士のやり取りは、どのような手段を用いて行うことになっていましたか。今回、双方のやり取りに障害はありませんでしたか。
- 避難先を決めていましたか。今回、その場所へ避難しましたか。
- (例: 自社の上階または屋上、自治体の指定避難場所、周辺の高台 等)
- 避難誘導の際、車の渋滞や瓦礫の発生など、避難の障害になるものはありましたか。
- 避難誘導、避難行動中に津波に関する情報 (津波警報や観測情報など) は入手できていましたか。入手できていない場合、入手できないことで問題はありましたか。

問3:

当初避難した場所から更に違う場所に避難された場合にお聞きします。

- 違う場所へ避難すると判断した理由は何ですか。

(5)地震や津波の経験

問1:

平成22年2月28日にチリ中部沿岸を震源とする地震が発生し、津波警報（大津波）が発表されましたが、その時の対応について教えてください。

問2:

今回の地震の2日前（3月9日）に三陸沖地震が発生し、津波注意報が発表されましたが、その時の対応について教えてください。

問3:

過去の津波経験が、今回の避難誘導や防災活動に影響を与えたと思いますか。また、その経験はどのように働きましたか。

(6)津波発生前の防災活動

問1:

災害時における自治体や地域との連携体制はどのようになっていましたか。津波災害における連携体制も考えていましたか。

問2:

自治体が作成している「津波ハザードマップ」を知っていますか。

- 津波ハザードマップをどのように活用していましたか。

問3:

津波避難訓練や津波防災に関する研修についてお聞きします。

- 貴社では、津波避難訓練や津波防災に関する研修などを実施していましたか。
- 津波避難訓練の内容について教えてください。
- 訓練と今回の対応で違いはありましたか。今後必要だと考える訓練内容はどのようなことですか。

問4:

今回の震災において、これまで行ってきた取り組みの効果があつた事例があれば教えてください。

(7)今後の課題

問1:

今回の震災を受けて、今後、準備をしておくべきことがあれば教えてください。（資機材、情報等）

問2:

今回の震災を受けて、今後の津波対策にはどのようなことが必要だと考えていますか。

ご協力いただき、誠にありがとうございました。

地震・津波時の避難行動等に関するヒアリング調査内容 (市対象)

〔事前にご用意していただきたい資料〕

- 地域防災計画
- 津波避難計画
- 要援護者避難支援プラン
- 津波ハザードマップ
- 津波避難ビル指定状況
- 防災行政無線の記録（平成 23 年 3 月 11 日）

(1)基礎情報(平成 23 年 3 月 11 日現在でお答え下さい)

1)自治体について

問1:

貴市の組織構成と職員数をお教え下さい。

問2:

貴市では、防災担当者は何人いますか。そのうち専従の方は何名いますか。また、夜間・休日の体制はどのようになっていますか。

問3:

非常電源についてお聞きします。

- 非常用発電機を設置していますか
- 設置している場合、貴市（支所を含む）には発電機が何台ありますか。また、どこに設置していますか。
- 非常時に全体の電力のうち、どの程度カバーできるものですか。
- 今回、地震による停電が起きましたが、非常用発電機は機能しましたか（運転時間等）。

(2)被災状況

問1:

3 月 11 日 14 時 46 分頃に地震が発生しましたが、貴庁舎では、地震発生からどのくらい経過した後、に停電しましたか。

問2:

当日、勤務されていた職員や庁舎・支所の建物の被害についてお聞きします。

(1)当日、勤務されていた職員の方の被害についてお聞きします。

- 当日、勤務されていた職員の方に被害はありましたか。
- 死亡・行方不明・ケガ等の状況について教えてください。
- 人的被害が大きかった場所（庁舎・支所など）について教えてください。

(2)庁舎・支所の建物の被害についてお聞きします。

- 庁舎や支所に被害はありましたか。地震による被害、津波による被害について教えてください。
- 被害のあった建物では、津波はどのくらいの高さ（m）まで来ましたか。それは建物の何階部分に相当しますか。
被害にあった建物の構造及び階数について教えてください。

(3)初動体制

問1:

初動体制についてお聞きします。

- 3 月 11 日 14 時 46 分頃に地震が発生し、約 3 分後に気象庁では「大津波警報」を発表していますが、貴市では、どのようなタイミングで災害対策本部を設置されましたか。
 - ① 地震発生と同時
 - ② 大津波警報の発表と同時
 - ③ その他
- 災害対策本部は本庁舎に設置できましたか。できなかった場合、どこに設置しましたか。

問2:

「大津波警報」が発表された時の体制についてお聞きします。

- 貴市では、津波情報が発表されたとき、どうすることになっていましたか。
 - ① 津波警報の伝達
 - ② 避難勧告・指示の発令
 - ③ 水門・陸閘の閉鎖
 - ④ 職員の参集（参集の範囲）
 - ⑤ 観光客への注意の呼びかけ
- （上記で選択された体制について）対応することができましたか。

問3:

「避難勧告・指示」の発令についてお聞きします。

- 貴市では、住民に対して「避難勧告・指示」を発令しましたか。
- 貴市では、大津波警報や津波警報などの区分によって発令基準を設けていますか。
- 貴市では、津波情報を受けて「避難指示・勧告」の発令を行うかどうかについて協議しましたか。
- 「避難勧告・指示」は、どのようなタイミングで発令しましたか。
- 避難の誘導は、どのようなタイミングで開始しましたか。

問4:

今回の震災において、事前の計画通りに初動体制をとることができましたか。その時に障害になったことがあれば、教えて下さい。

(4)情報入手(防災担当としてお答え下さい)

問1:

「緊急地震速報」についてお聞きします。

- 緊急地震速報が発表されましたが、入手しましたか。入手していない場合は、その理由を教えてください。
- どのような手段で入手しましたか。(ex.携帯電話、テレビ、緊急地震速報機器など)
- 入手された方にお聞きします。緊急地震速報を入手した後、どのような行動をしましたか。

問2:

「地震情報（震度、マグニチュード、震源等）」についてお聞きします。

- 気象庁から地震情報が発表されましたが、その情報を入手しましたか。入手していない場合は、その理由を教えてください。
- どのような手段で入手しましたか。(ex.携帯電話、テレビ、ラジオなど)

問3:

「津波情報」についてお聞きします。

- 地震発生から約3分後に「大津波警報」が発表されていますが、貴市では、どんな手段でその情報を入手しましたか。また、そのうちその情報を一番最初にどこから入手しましたか。
 - ① J-Alert により入手した
 - ② 県の防災行政無線を通じて入手した
 - ③ 県からの電話を通じて入手した
 - ④ 管内の気象官署からの連絡を通じて入手した
 - ⑤ テレビやラジオの放送を通じて入手した
 - ⑥ 通信事業者からの連絡を通じて入手した
- 入手した「津波情報」の内容について教えてください。

	岩手県	宮城県	福島県
津波警報	大津波	大津波	大津波
第1波到達 予想時刻	到達と推測	午後 3:00	午後 3:10
予想される 津波の高さ	3m	6m	3m

- 気象庁が発表した「津波情報」は、数回にわたり情報が更新されました。その情報についてお聞きします。
 - ① 更新された「津波情報」を入手しましたか。
 - ② 入手した情報において、予想される津波の高さは何m（または何m以上）でしたか。

	岩手県	宮城県	福島県
1回目	3m	6m	3m
2回目	6m	10m以上	6m
3回目	10m以上	10m以上	10m以上

(5)情報伝達(防災担当としてお答え下さい)

問1:

本庁から発信される情報の流れ（手段、内容）についてお聞きします。

- 「大津波警報」が発表された時、貴市（本庁）から情報を伝達することになっている関係機関を教えてください。
- 本庁から支所への情報手段、情報の内容はどのようなものですか。
- 本庁から関係者（避難誘導をしている職員、消防団、自治会、自主防災組織など）への情報手段、情報の内容はどのようなものですか。
- 今回の震災において、関係機関との情報のやり取りで障害になったことはありますか。

問2:

住民に対する情報伝達について教えてください。防災行政無線の記録を保管されている場合は、その記録をいただくと幸いです。

1)津波情報について

- 貴市では、気象庁が発表した「津波情報」を住民に対して広報しましたか。
- 最初に広報したのは、何時頃ですか。
- 広報はどのような手段でしましたか。
 - ① 防災行政無線（屋外拡声方式）
 - ② 防災行政無線（戸別受信方式）
 - ③ 広報車（消防車を含む）
 - ④ その他（メールや Fax）
- 「想定される津波の高さ」を広報しましたか。広報した場合、「想定される津波の高さは何m（または何m以上）である」というように、具体的な津波の高さを伝えましたか。
- 観測された津波の「第1波」の情報を広報しましたか。広報した場合、津波高さ（実測値）を広報しましたか。
- 貴市では、更新された「津波情報」を広報できましたか。できなかった場合は、その理由を教えてください。

2)避難情報について

- 貴市では、「避難勧告・指示」の発令を住民に対して広報しましたか。
- 最初に広報したのは、何時頃ですか。（地震が発生してから何分後）
- 広報はどのような手段でしましたか。
 - ① 防災行政無線（屋外拡声方式）
 - ② 防災行政無線（戸別受信方式）
 - ③ 広報車（消防車を含む）
 - ④ その他（メールや Fax）
- （③広報車を選択された方にお聞きします。）何人体制で広報しましたか。
- 「避難勧告・指示」を発令した対象地域、対象地域の人数・世帯数を教えてください。

(6)避難行動及び避難誘導

問1:

避難誘導者（職員）について教えてください。

- 市内に出て避難誘導を行っていた職員数を教えてください。
- （避難誘導をされた方または避難誘導をされた方の話を聞いた方にお聞きします。）
避難誘導をされている時に、車の渋滞や瓦礫の発生など、避難の障害になるものはありましたか。
- 避難誘導をされた職員の中で被害に遭われた方はいますか。
- 避難誘導者が避難するルールは決まっていましたか。避難のタイミングや避難場所について教えてください。

問2:

災害時要援護者支援について教えてください。

- 貴市では、災害時要援護者支援の規程がありましたか。ある場合は、その資料の写しをいただけると幸いです。
- 高齢者や外国人などの災害時要援護者の対応は、どのように行いましたか。
- 貴市では、民生委員や消防団などが災害時要援護者支援を行っていますか。その場合、担当されている方の人数を教えてください。
- 災害時要援護者支援をされた方の中で被害に遭われた方はいますか。

問3:

水門・陸閘閉鎖について教えてください。

- 貴市で管理している水門・陸閘はありますか。そのうち委託している箇所はありますか。
- 貴市が管理している水門・陸閘において、職員（消防職団員を除く）が閉鎖操作を行う施設はいくつありますか。手動・自動遠隔操作など、操作別に教えてください。
- 貴市が管理している全ての水門・陸閘が閉鎖するまでに、どのくらいの時間を要しましたか。
- 閉鎖操作を担当されていた職員の中で、津波の被害に遭われた方はいますか。
- 閉鎖を担当している職員が避難するルールは決まっていましたか。避難のタイミングや避難場所について教えてください。

問4:

交通規制について教えてください。

- 貴市では、津波警報が発表された時の交通規制はどのようになっていましたか。その場合、どの部署が担当していましたか。
- 今回の震災において、交通規制を行った箇所はありますか。
- 交通規制をしたことで、避難の障害になるものはありましたか。

問5:

避難行動、避難誘導などの対応に津波に関する情報（津波警報や観測情報など）は入手できていましたか。入手できていない場合、入手できないことで問題はありましたか。

問6:

指定避難所・津波避難ビルについてお聞きします。

1)避難所について

- 指定避難所数を教えてください。
- 津波災害を考慮した指定避難所はありますか。
- 指定避難所の開設は、どのようなタイミングで行いましたか。
- 指定避難所に職員を派遣しましたか。
- 指定避難所を開設する時、津波被害を考えて、違う避難所や高台へ誘導しましたか。
- 今回の震災で、指定避難所に避難した人数を把握していますか。把握されている場合は避難所ごとに人数を教えてください。
- 今回の震災で、被害に遭った指定避難所はありますか。
- 今回の震災で、津波による湛水や瓦礫の影響により孤立した指定避難所はありますか。ある場合、救助を要請するに至った経緯と救助されるまでの期間を教えてください。

2)津波避難ビル(緊急・一時避難先)について

- 津波避難ビルを指定していましたか。指定している場合は、所有区分別（公的・民間）の指

定数を教えて下さい。

- 津波避難ビルを指定する上で定めた規則はありましたか。
 - ① 津波避難困難地域において指定する
 - ② 津波避難ビルは公的施設のみとする など
- 津波避難ビルの指定状況は、想定避難者数に対して十分なものでしたか。
- 今回の震災で、津波避難ビルに避難された人数を把握していますか。把握されている場合は、避難ビルごとに人数を教えてください。
- 今回の震災で、被害に遭った津波避難ビルはありますか。またその避難ビルは何階建てでしたか。津波の被害は何階部分までありましたか
- 今回の震災で、津波による湛水や瓦礫の影響により孤立した指定避難ビルはありますか。ある場合、救助を要請するに至った経緯と救助されるまでの期間を教えてください。
- 今回の震災を振り返り、津波避難ビルは有効に活用されたと思いますか。

(7)地震や津波の経験

問1:

平成22年2月28日にチリ中部沿岸を震源とする地震が発生し、岩手県・宮城県は「大津波警報」が、福島県は「津波警報」発表されました。今回の地震の2日前(3月9日)には、三陸沖地震が発生して、岩手県・宮城県・福島県に「津波警報」が発表されました。

- 今回と過去の対応で、違うところはありましたか。
 - ① 体制
 - ② 情報収集・伝達
 - ③ 避難誘導
 - ④ その他
- 過去の経験が今回の対応に影響を与えたと思いますか。また、その経験はプラス面、マイナス面のどちらに働きましたか。

(8)津波発生前の防災活動

1)津波対策について

問1:

津波対策についてお聞きします。貴市では、次のような津波対策を実施していましたか。

- 地域防災計画(津波防災対策編または章など)
- 津波避難計画
- 災害時要援護者の避難計画
- 自主防災組織等による地域ごとの避難計画

問2:

避難等の情報提供について教えてください。

- 津波発生時の外部への連絡体制を教えてください。
- 防災無線機(屋外、戸別)の整備状況について教えてください。

2)津波ハザードマップ(津波防災マップ)、防災訓練について

問1:

貴市における津波ハザードマップについてお聞きします。

- 津波ハザードマップの配布状況はどのようになっていましたか。(全戸配布など)
- 津波避難訓練を実施していましたか。対象者(住民、職員)と実施頻度、実施内容について教えてください。
- 貴市では、津波防災教育を行っていましたか。行っている場合、対象者と内容について教えてください。

問2:

津波避難訓練や津波防災に関する研修についてお聞きします。

- 貴自治体では、津波防災訓練や防災訓練に関する研修などを実施していましたか。
- 津波避難訓練の内容を教えてください。

- 訓練と今回の対応で違いはありましたか。今後、必要だと考える訓練はどのようなことですか。

問3:

今回の震災において、これまで行ってきた取り組みの効果があつた事例があれば教えてください。

(9) 今後の課題

問1:

今回の震災を受けて、今後、準備をしておくべきことがあれば教えてください。(資機材、情報等)

問2:

今回の震災を受けて、今後の津波防災対策にはどのようなことが必要だと考えていますか。

問3:

今回の震災を受けて、既存の津波防災計画(地域防災計画、津波避難計画など)の課題や修正に向けた留意点があれば教えてください。

ご協力いただき、誠にありがとうございました。

地震・津波時の避難行動等に関するヒアリング調査内容 (常備消防対象)

(1)基礎情報(平成 23 年 3 月 11 日現在でお答え下さい)

問1:

全消防職員数を教えてください。

問2:

本部・消防署所が所有している消防車両の台数を教えてください。

問3:

災害時の本部と他機関（警察、消防団、自治体等）との連絡体制や、避難に関する取り決め事項を教えてください。また、その中で津波災害を考慮した事項があれば教えてください。

問4:

非常電源設備についてお聞きします。

- 非常用発電機を設置していますか
- 設置している場合、発電機が何台ありますか。また、どこに設置していますか。
- 非常時に全体の電力のうち、どのくらいカバーできるものですか。
- 今回、地震による停電が起きましたが、非常用発電機は機能しましたか（運転時間等）。

(2)被災状況

問1:

3月11日14時46分頃に地震が発生しましたが、本部では、地震発生からどのくらい経過した後に停電しましたか。

問2:

当日、勤務されていた職員や本部・消防署所の建物の被害についてお聞きします。

(1)当日、勤務されていた職員の方の被害についてお聞きします。

- 当日、勤務されていた職員の方に被害はありましたか。
- 死亡・行方不明・ケガ等の状況について教えてください。
- 人的被害が大きかった場所（庁舎・支所など）について教えてください。

(2)本部・消防署所の建物の被害についてお聞きします。

- 本部や消防署所に被害はありましたか。地震による被害、津波による被害について教えてください。
- 被害のあった建物では、津波はどのくらいの高さ（m）まで来ましたか。それは建物の何階部分に相当しますか。
- 被害にあった建物の構造及び階数について教えてください。

問3:

消防車両の被害状況について教えてください。

(3)初動体制

問1:

初動体制についてお聞きします。非常時の体制系統図がある場合は、その写しをいただくと幸いです。

- 3月11日14時46分頃に地震が発生し、大きな揺れを感じる前に気象庁から「緊急地震速報」が発表され、約3分後には「地震情報」が発表されています。本部では、地震が発生した時、どのような対応をとることになっていましたか。
(①地震発生時、②地震で揺れている間、③地震の揺れがおさまった後にとる対応は決まっていたいましたか)

問2:

「大津波警報」が発表された時の体制についてお聞きします。

- 本部では、「大津波警報」が発表された時、どのような対応をとることになっていましたか。
- 職員の参集を行いましたか。参集した職員の範囲について教えてください。

問3:

今回の震災で本庁舎内に消防対策本部を設置出来ましたか。出来なかった場合は、どこに対策本部を設置しましたか。

問4:

今回の震災において、事前の計画通りに初動体制をとることができましたか。その時に障害になったことがあれば、教えてください。

(4)情報入手・伝達

問1:

「緊急地震速報」についてお聞きします。

- 緊急地震速報が発表されましたが、入手しましたか。入手していない場合は、その理由を教えてください。
- どのような手段で入手しましたか。(ex.携帯電話、テレビ、緊急地震速報機器など)
- 入手された方にお聞きします。緊急地震速報を入手した後、どのような行動をしましたか。

問2:

「地震情報（震度、マグニチュード、震源等）」についてお聞きします。

- 気象庁から地震情報が発表されましたが、その情報を入手しましたか。入手していない場合は、その理由を教えてください。
- どのような手段で入手しましたか。(ex.携帯電話、テレビ、ラジオなど)

問3:

「津波情報」についてお聞きします。

- 地震発生から約3分後に「大津波警報」が発表されていますが、どんな手段でその情報を入手しましたか、また、そのうち一番最初にどこから入手しましたか。
(ex.テレビ、ラジオ、防災行政無線、携帯電話(iモード等)、携帯電話(ワンセグ)など)
- 入手した「津波情報」の内容について教えてください。

	岩手県	宮城県	福島県
津波警報	大津波	大津波	大津波
第1波到達 予想時刻	到達と推測	午後 3:00	午後 3:10
予想される 津波の高さ	3m	6m	3m

- 気象庁が発表した「津波情報」は、数回にわたり情報が更新されました。その情報についてお聞きします。

- ① 更新された津波情報を入手しましたか。
- ② 入手した情報において、予想される津波の高さは何m（または何m以上）でしたか。

	岩手県	宮城県	福島県
1回目	3m	6m	3m
2回目	6m	10m以上	6m
3回目	10m以上	10m以上	10m以上

- 自治体から「避難指示・勧告」が発令されていますが、このような情報をどのような手段を用いて入手されましたか。また、それは自動的に受信できるような仕組みになっていましたか。

か。

問4:

情報を入手した後の対応についてお聞きします。

- 入手した情報を職員に対して、どのような手段で伝達しましたか。それは非番の職員に対しても同じですか。
- 入手した情報は、どのような機関に、どのような手段で伝達することになっていますか。

(5)避難行動及び避難誘導

問1:

避難の誘導についてお聞きします。

- 本部では、地震が発生した時や津波警報が発表された時、避難の誘導をすることになっていましたか。

問2:

避難誘導の規程と実際にされた行動についてお聞きします。避難誘導の規程がない場合、実際にされた行動についてお答え下さい。

- 消防本部（消防署所）の避難誘導とは、どのようなことですか。（連絡まで、避難所誘導まで）
- 避難の誘導は、どのようなタイミングで開始することになっていましたか。
- 避難誘導の際、使用する車両を決めていましたか。
- 消防本部（消防署所）と避難誘導職員との情報のやり取りは、どのような手段を用いて行うことになっていましたか。今回、双方のやり取りに障害はありませんでしたか。
- 災害時要援護者への対応は、どのように行うことになっていましたか。
- 避難者を誘導する場所を決めていましたか。（自治体の指定避難場所、独自で定めた場所など）
- 避難誘導の際、車の渋滞や瓦礫の発生など、避難の障害になるものはありましたか。
- 避難誘導を担当している職員が避難するルールは決まっていたりしましたか。避難のタイミングや避難場所について教えて下さい。

(6)防災活動

問1:

本部が管理を委任されている水門・陸閘はありますか。委任されている場合、閉鎖に要した時間を教えて下さい。

- 水門・陸閘の閉鎖操作中に津波に遭い、被災された職員の方はいますか。

問2:

今回の震災による火災についてお聞きします。

- 火災による出動はありましたか。
- 火災による出動で、避難誘導を担当する職員が消火にあたった事例はありますか。消火活動中に津波に遭い、被災された職員の方はいますか。

問3:

避難行動、避難誘導などの対応に津波に関する情報（津波警報や観測情報など）は入手できていましたか。入手できていない場合、入手できないことで問題はありましたか。

(7)地震や津波の経験

問1:

平成22年2月28日にチリ中部沿岸を震源とする地震が発生し、津波警報（大津波）が発表されました。その時の対応について教えて下さい。

※いわき市、相馬市では津波警報（津波）が発表されました

問2:

今回の地震の2日前（3月9日）に三陸沖地震が発生し、津波注意報が発表されましたが、その

時の対応について教えてください。

問3:

過去の津波経験が、今回の避難誘導や防災活動に影響を与えたと思いますか。また、その経験はどのように働きましたか。

(8)津波発生前の防災活動

問1:

これまでの防災対策では、どのような災害を想定していましたか。

問2:

災害時における自治体との連携体制はどのようになっていましたか。津波災害時における連携体制も考えていましたか。

問3:

災害発生時の外部への情報伝達体制について教えてください。

問4:

消防団との連携体制は、どのようになっていましたか。

問5:

河川の水門操作や防潮堤の門扉の開閉操作について、運用規程などはありますか。ある場合は、運用規程の写しをいただくと幸いです。

問6:

自治体が作成している「津波ハザードマップ」を知っていますか。

●津波ハザードマップをどのように活用していましたか。

問7:

避難誘導訓練についてお聞きします。

●平時より避難誘導訓練を実施していましたか。

●要援護者の避難誘導（搬送方法）について訓練をしていましたか。

●訓練と実際の対応で違いはありましたか。今後、必要だと考える訓練はどのようなことですか。

問8:

今回の震災において、これまで行ってきた取り組みの効果があつた事例があれば教えてください。

(9)今後の課題

問1:

今回の震災を受けて、今後、準備をしておくべきことがあれば教えてください。（資機材、情報等）

問2:

今回の震災を受けて、今後の津波防災対策にはどのようなことが必要だと考えていますか。

ご協力いただき、誠にありがとうございました。

地震・津波時の避難行動等に関するヒアリング調査内容 (警察対象)

(1)基礎情報(平成 23 年 3 月 11 日現在でお答え下さい)

問1:

警察署に勤めている方の人数を教えてください。(警察署、駐在所総数)

問2:

貴署が所有している関係車両の台数を教えてください。

問3:

災害時の他機関(消防署、消防団、自治体等)との連絡体制及び避難に関する取り決め事項を教えてください。また、その中で津波災害を考慮した事項があれば教えてください。

問4:

非常電源設備についてお聞きします。

- 非常用発電機を設置していますか
- 設置している場合、発電機が何台ありますか。また、どこに設置していますか。
- 非常時に全体の電力のうち、どのくらいカバーできるものですか。
- 今回、地震による停電が起きましたが、非常用発電機は機能しましたか(運転時間等)。

(2)被災状況

問1:

3月11日14時46分頃に地震が発生しましたが、庁舎では、地震発生からどのくらい経過した後、に停電しましたか。

問2:

当日、勤務されていた職員や庁舎・駐在所の建物の被害についてお聞きします。

(1)当日、勤務されていた職員の被害についてお聞きします。

- 当日、勤務されていた職員に被害はありましたか。
- 死亡・行方不明・ケガ等の状況について教えてください。

(2)庁舎・駐在所の建物の被害についてお聞きします。

- 庁舎・駐在所に被害はありましたか。地震による被害、津波による被害について教えてください。
- 被害のあった庁舎・駐在所では、津波はどのくらいの高さ(m)まで来ましたか。
- 被害にあった建物の構造及び階数について教えてください。

問3:

警察車両の被害状況について教えてください。

(3)初動体制

問1:

初動体制についてお聞きします。非常時の体制系統図がある場合は、その写しをいただけると幸いです。

- 3月11日14時46分頃に地震が発生し、大きな揺れを感じる前に気象庁から「緊急地震速報」が発表され、約3分後には「地震情報」が発表されています。貴署では、地震が発生した時、どのような対応をとることになっていましたか。
(①地震発生時、②地震で揺れている間、③地震の揺れがおさまった後の対応は決まっていたか)

問2:

「大津波警報」が発表された時の体制についてお聞きします。

- 貴署では、津波情報が発表された時、どのような対応をとることになっていましたか。
- 職員の参集を行いましたか。参集した職員の範囲について教えてください。

問3:

今回の震災で本庁舎内に対策本部を設置出来ましたか。出来なかった場合は、どこに対策本部を設置しましたか。

問4:

今回の震災において、事前の計画通りに初動体制をとることができましたか。その時に障害になったことがあれば、教えてください。

(4)情報入手・伝達

問1:

「緊急地震速報」についてお聞きします。

- 緊急地震速報が発表されましたが、入手しましたか。入手していない場合は、その理由を教えてください。
- どのような手段で入手しましたか。(ex.携帯電話、テレビ、緊急地震速報機器など)
- 入手された方にお聞きします。緊急地震速報を入手した後、どのような行動をしましたか。

問2:

「地震情報（震度、マグニチュード、震源等）」についてお聞きします。

- 気象庁から地震情報が発表されましたが、その情報を入手しましたか。入手していない場合は、その理由を教えてください。
- どのような手段で入手しましたか。(ex.携帯電話、テレビ、ラジオなど)

問3:

「津波情報」についてお聞きします。

- 地震発生から約3分後に「大津波警報」が発表されていますが、どんな手段でその情報を入手しましたか、また、そのうち一番最初にどこから入手しましたか。
(ex.テレビ、ラジオ、防災行政無線、携帯電話(iモード等)、携帯電話(ワンセグ)など)
- 入手した「津波情報」の内容について教えてください。

	岩手県	宮城県	福島県
津波警報	大津波	大津波	大津波
第1波到達 予想時刻	到達と推測	午後 3:00	午後 3:10
予想される 津波の高さ	3m	6m	3m

- 気象庁が発表した「津波情報」は、数回にわたり情報が更新されました。その情報についてお聞きします。
 - ① 更新された津波情報を入手しましたか。
 - ② 入手した情報において、予想される津波の高さは何m（または何m以上）でしたか。

	岩手県	宮城県	福島県
1回目	3m	6m	3m
2回目	6m	10m以上	6m
3回目	10m以上	10m以上	10m以上

- 自治体から「避難勧告・指示」が発令されていますが、このような情報をどのような手段を用いて入手されましたか。また、それは自動的に受信できるような仕組みになっていますか。

問4:

「交通事故情報等」についてお聞きします。

- 地震による車両の転倒、家屋の倒壊などによる道路の途絶が発生しましたか。
- 発生した場合、その情報は地震発生後どの程度から通報がありましたか。
- 交通渋滞の発生状況は、地震発生後どの程度から入手できたのでしょうか。

問5:

情報を入手した後の対応についてお聞きします。

- 入手した情報を職員に対して、どのような手段で伝達しましたか。それは非番の職員に対しても同じですか。
- 入手した情報は、どのような機関に、どのような手段で伝達することになっていますか。

(5)避難行動及び避難誘導

問1:

避難の誘導についてお聞きします。

- 貴署では、地震が発生した時や津波警報が発表された時、避難の誘導をすることになっていましたか。

問2:

避難誘導の規程と実際にされた行動についてお聞きします。避難誘導の規程がない場合、実際にされた行動についてお答え下さい。

- 貴署の避難誘導とは、どのようなことですか。(連絡まで、避難所誘導まで)
- 避難の誘導は、どのようなタイミングで開始することになっていましたか。
- 避難誘導の際、使用する車両を決めていましたか。
- 本部と避難誘導職員との情報のやり取りは、どのような手段を用いて行うことになっていましたか。今回、双方のやり取りに障害はありませんでしたか。
- 災害時要援護者への対応は、どのように行うことになっていましたか。
- 避難者を誘導する場所を決めていましたか。(自治体の指定避難場所、独自で定めた場所など)
- 避難誘導の際、車の渋滞や瓦礫の発生など、避難の障害になるものはありましたか。
- 避難誘導を担当している職員が避難するルールは決まっていたですか。避難のタイミングや避難場所について教えて下さい。

問3:

避難行動、避難誘導などの対応に津波に関する情報(津波警報や観測情報など)は入手できていましたか。入手できていない場合、入手できないことで問題はありましたか。

(6)防災活動

問1:

道路の交通規制についてお聞きします。

- 道路の交通規制はどのように行いましたか。それは、事前に決められていたものですか。それとも署長の判断によるものですか。
- 道路の交通規制に関して、自治体の道路管理者と連携して判断したものですか。

問2:

交通規制を担当している職員との情報のやり取りは、どのような手段を用いて行っていましたか。

問3:

交通規制を担当している職員が避難するルールは決まっていたですか。避難のタイミングや避難場所について教えて下さい。

(7)地震や津波の経験

問1:

平成22年2月28日にチリ中部沿岸を震源とする地震が発生し、津波警報(大津波)が発表されました。その時の対応について教えて下さい。

※いわき市、相馬市では津波警報(津波)が発表されました

問2:

今回の地震の2日前(3月9日)に三陸沖地震が発生し、津波注意報が発表されましたが、その時の対応について教えて下さい。

問3:

過去の津波経験が、今回の避難誘導や防災活動に影響を与えたと思いますか。また、その経験はどのように働きましたか。

(8)津波発生前の防災活動

問1:

これまでの防災対策では、どのような災害を想定していましたか。

問2:

災害時における自治体との連携体制はどのようになっていましたか。津波災害時における連携体制も考えていましたか。

問3:

災害発生時の外部への情報伝達体制について教えてください。

問4:

自治体、消防、消防団などの関係機関との連携体制は、どのようになっていましたか。

問5:

自治体が作成している「津波ハザードマップ」を知っていますか。

- 津波ハザードマップをどのように活用していましたか。

問6:

避難誘導訓練についてお聞きします。

- 平時より避難誘導訓練を実施していましたか。
- 要援護者の避難誘導（搬送方法）について訓練をしていましたか。
- 交通規制について、国や県と協議していましたか。
- 訓練と実際の対応で違いはありましたか。今後、必要だと考える訓練はどのようなことですか。

問7:

今回の震災において、これまで行ってきた取り組みの効果があつた事例があれば教えてください。

(9)今後の課題

問1:

今回の震災を受けて、今後、準備をしておくべきことがあれば教えてください。（資機材、情報等）

問2:

今回の震災を受けて、今後の津波防災対策にはどのようなことが必要だと考えていますか。

ご協力いただき、誠にありがとうございました。

地震・津波時の避難行動等に関するヒアリング調査内容 (消防団(分団)対象)

(1)基礎情報(平成 23 年 3 月 11 日現在でお答え下さい)

問1:

貴消防分団の担当区域を教えてください。また担当区域の世帯数を教えてください。

問2:

貴消防分団の構成人数を教えてください。

問3:

津波災害時、貴消防分団が行うことになっている活動を教えてください。

問4:

貴消防分団が所有している消防車両の台数を教えてください。

問5:

非常電源設備についてお聞きします。

- 分団内の詰所や屯所に非常用発電機を設置していますか
- 設置している場合、発電機が何台ありますか。また、どこに設置していますか。
- 非常時に全体の電力のうち、どのていどカバーできるものですか。
- 今回、地震による停電が起きましたが、非常用発電機は機能しましたか(運転時間等)。

(2)被災状況

問1:

3月11日14時46分頃に地震が発生しましたが、分団内の詰所・屯所では、地震発生からどのくらい経過した後に停電しましたか。

問2:

当日、出勤された分団員や分団内の詰所・屯所の建物に被害についてお聞きします。

(1)当日、出勤された消防団の方の被害についてお聞きします。

- 当日、出勤された分団員の方に被害はありましたか。
- 死亡・行方不明・ケガ等の状況について教えてください。

(2)分団内の詰所・屯所の建物の被害についてお聞きします。

- 分団内の詰所・屯所に被害はありましたか。地震による被害、津波による被害について教えてください。
- 被害のあった分団内の詰所・屯所では、津波はどのくらいの高さ(m)まで来ましたか。
- 被害にあった建物の構造及び階数について教えてください。

問3:

消防車両の被害状況について教えてください。

(3)初動体制

問1:

初動体制についてお聞きします。非常時の体制系統図がある場合は、その写しをいただくと幸いです。

- 3月11日14時46分頃に地震が発生し、気象庁から「地震情報」が発表されていますが、貴消防分団では、地震が発生した時、どのような対応をとることになっていましたか。
(①地震発生時、②地震で揺れている間、③地震の揺れがおさまった後にとる対応は決まっていたか)

問2:

「大津波警報」が発表された時の体制についてお聞きします。

- 貴消防分団では、「大津波警報」が発表された時、どのような対応をとることになっていま

したか。

- 消防分団員の参集を行いましたか。参集した分団員の範囲について教えてください。

問3:

今回の震災において、事前の計画通りに初動体制をとることができましたか。その時に障害になったことがあれば、教えてください。

(4)情報入手・伝達

問1:

「緊急地震速報」についてお聞きします。

- 緊急地震速報が発表されましたが、入手しましたか。入手していない場合は、その理由を教えてください。
- どのような手段で入手しましたか。(ex.携帯電話、テレビ、緊急地震速報機器など)
- 入手された方にお聞きします。緊急地震速報を入手した後、どのような行動をしましたか。

問2:

「地震情報（震度、マグニチュード、震源等）」についてお聞きします。

- 気象庁から地震情報が発表されましたが、その情報を入手しましたか。入手していない場合は、その理由を教えてください。
- どのような手段で入手しましたか。(ex.携帯電話、テレビ、ラジオなど)

問3:

「津波情報」についてお聞きします。

- 地震発生から約3分後に「大津波警報」が発表されていますが、どんな手段でその情報を入手しましたか、また、そのうち一番最初にどこから入手しましたか。
(ex.テレビ、ラジオ、防災行政無線、携帯電話(iモード等)、携帯電話(ワンセグ)など)
- 入手した「津波情報」の内容について教えてください。

	岩手県	宮城県	福島県
津波警報	大津波	大津波	大津波
第1波到達 予想時刻	到達と推測	午後3:00	午後3:10
予想される 津波の高さ	3m	6m	3m

- 気象庁が発表した「津波情報」は、数回にわたり情報が更新されました。その情報についてお聞きします。
 - ③ 更新された津波情報を入手しましたか。
 - ④ 入手した情報において、予想される津波の高さは何m(または何m以上)でしたか。

	岩手県	宮城県	福島県
1回目	3m	6m	3m
2回目	6m	10m以上	6m
3回目	10m以上	10m以上	10m以上

- 自治体から「避難勧告・指示」が発令されていますが、このような情報をどのような手段を用いて入手されましたか。また、それは自動的に受信できるような仕組みになっていましたか。

問4:

情報を入手した後の対応についてお聞きします。

- 入手した情報を分団員に対して、どのような手段で伝達しましたか。

(5)避難行動及び避難誘導

問1:

避難の誘導についてお聞きします。

- 貴消防分団では、地震が発生した時や津波警報が発表された時、避難の誘導をすることになっていましたか。

問2:

避難誘導の規程と実際にされた行動についてお聞きします。(避難誘導の規程がない場合、実際にされた行動についてお答え下さい。)

- 貴消防分団の避難誘導とは、どのようなことですか。(連絡まで、避難所誘導まで)
- 避難の誘導は、どのようなタイミングで開始することになっていましたか。
- 避難誘導の際、使用する車両を決めていましたか。
- 団本部や部長、班長、避難誘導団員との情報のやり取りは、どのような手段を用いて行うことになっていましたか。今回、双方のやり取りに障害はありませんでしたか。
- 災害時要援護者への対応は、どのように行うことになっていましたか。
- 避難者を誘導する場所を決めていましたか。(自治体の指定避難場所、周辺の高台など)
- 避難誘導の際、車の渋滞や瓦礫の発生など、避難の障害になるものはありましたか。
- 避難誘導に対して、住民は従ってくれましたか。従ってくれなかった場合、その理由はなんですか。
- 避難誘導を担当している消防団員が避難するルールは決まっていたか。避難のタイミングや避難場所について教えてください。

問3:

避難行動、避難誘導などの対応に津波に関する情報(津波警報や観測情報など)は入手できていましたか。入手できていない場合、入手できないことで問題はありましたか。

(6)防災活動

問1:

貴消防分団が管理を委任されている水門・陸閘はありますか。委任されている場合、閉鎖に要した時間を教えてください。

- 水門・陸閘の閉鎖操作中に津波の被害に遭い、被災された分団員の方はいますか。

問2:

今回の震災による火災についてお聞きします。

- 火災による出動はありましたか。
- 火災による出動で、避難誘導を担当する分団員が消火にあたった事例はありますか。
- 消火活動中に津波に遭い、被災された分団員の方はいますか。

(7)地震や津波の経験

問1:

平成22年2月28日にチリ中部沿岸を震源とする地震が発生し、津波警報(大津波)が発表されました。その時の対応について教えてください。

問2:

今回の地震の2日前(3月9日)に三陸沖地震が発生し、津波注意報が発表されましたが、その時の対応について教えてください。

問3:

過去の津波経験が、今回の避難誘導や防災活動に影響を与えたと思いますか。また、その経験はどのように働きましたか。

(8)津波発生前の防災活動

問1:

河川の水門操作や防潮堤の門扉の開閉操作について、運用規程などはありますか。ある場合は、

運用規程の写しをいただけると幸いです。

問2:

「大津波警報」が発表されたとき、貴消防分団は海面監視活動を行うことになっていませんか。

問3:

自治体が作成している「津波ハザードマップ」を知っていますか。

- 津波ハザードマップをどのように活用していましたか。

問4:

津波避難訓練や津波防災に関する研修についてお聞きします。

- 貴消防分団では、津波避難訓練や津波防災に関する研修などに参加していましたか。
- 実施頻度を教えてください。
- 津波避難訓練や研修の内容について教えてください。
- 訓練と実際の対応で違いはありましたか。今後、必要だと考える訓練はどのようなことですか。

問5:

連絡体制や指示系統についてお聞きします。

- 市町村との連絡体制や指示系統は、どのようになっていましたか。
- 常備消防との連絡体制や指示系統は、どのようになっていましたか。

問6:

住民の避難誘導についてお聞きします。

- 平成 23 年 3 月 11 日現在、消防団では住民や災害時要援護者の避難誘導を行うことになっていましたか。
- 住民の避難における誘導範囲や誘導先は決められていましたか。
- 災害時要援護者の場所は把握していましたか。
- 災害時要援護者の避難誘導先は決められていましたか。

問7:

今回の震災において、これまで行ってきた取り組みの効果があつた事例があれば教えてください。

(9) 今後の課題

問1:

今回の震災を受けて、今後、準備をしておくべきことがあれば教えてください。(資機材、情報等)

問2:

今回の震災を受けて、今後の津波防災対策にはどのようなことが必要だと考えていますか。

ご協力いただき、誠にありがとうございます。

地震・津波時の避難行動等に関するヒアリング調査内容 (自治会対象)

(1)基礎情報(平成23年3月11日現在でお答え下さい)

問1:

貴自治会の範囲を教えてください。

問2:

貴自治会では、津波災害時の避難場所は決まっていましたか。

問3:

貴自治会についてお聞きします。詳細が分からない場合は、概ねの数値で構いません。

- 自治会に所属している住民の人数・世帯数について教えてください。
- 自治会の高齢化率が分かれば、教えてください。
- 自治会には、どのくらいの方が入会していますか。(入会率)
- 自治会には、どのような組織がありますか。避難に関して、民生委員や防災委員など役割が決まっていれば教えてください。

問4:

津波災害時に、自治体や消防などの行政機関から任せられている役割があれば、教えてください。

- ① 避難所の開設
- ② 住民への連絡
- ③ 水門・陸閘の操作
- ④ 災害時要援護者の支援
- ⑤ 避難の呼びかけ
- ⑥ その他

(2)被災状況

問1:

3月11日14時46分頃に地震が発生しましたが、地震発生からどのくらい経過した後に停電しましたか。

問2:

住民の方々が避難された場所はどこですか。また、その場所に津波の被害はありましたか。

問3:

貴自治会では、どのくらいの住民の方が避難所・仮設住宅での生活をされていますか。(ピーク時及び現時点)

(3)災害時の体制(自治会長としてお答え下さい)

問1:

自治会長として、津波災害時に行う活動について教えてください。

- あなたは、津波災害時にどのような活動をするようになっていましたか。その活動内容について教えてください。

問2:

- 貴自治会では、災害時に住民を参集することとされていましたか。
- 貴自治会では、住民の参集を行いましたか(声をかけましたか)。いつ、どのようなタイミングでどのような方を対象にされたか教えてください。
- あなたは実際にどのような活動をされましたか。

問3:

今回の震災において、事前の計画通りに活動することができましたか。その時に障害になったことがあれば、教えてください。

(4)情報入手・伝達(自治会長としてお答え下さい)

問1:

「緊急地震速報」についてお聞きします。

- 緊急地震速報が発表されましたが、入手しましたか。入手していない場合は、その理由を教えてください。
- どのような手段で入手しましたか。(ex.携帯電話、テレビ、緊急地震速報機器など)
- 入手された方にお聞きします。緊急地震速報を入手した後、どのような行動をしましたか。

問2:

「地震情報（震度、マグニチュード、震源等）」についてお聞きします。

- 気象庁から地震情報が発表されましたが、その情報を入手しましたか。入手していない場合は、その理由を教えてください。
- どのような手段で入手しましたか。(ex.携帯電話、テレビ、ラジオなど)

問3:

「津波情報」についてお聞きします。

- 地震発生から約3分後に「大津波警報」が発表されていますが、どんな手段でその情報を入手しましたか、また、そのうち一番最初にどこから入手しましたか。
(ex.テレビ、ラジオ、防災行政無線、携帯電話(iモード等)、携帯電話(ワンセグ)など)
- 入手した「津波情報」の内容について教えてください。

	岩手県	宮城県	福島県
津波警報	大津波	大津波	大津波
第1波到達 予想時刻	到達と推測	午後3:00	午後3:10
予想される 津波の高さ	3m	6m	3m

- 気象庁が発表した「津波情報」は、数回にわたり情報が更新されました。その情報についてお聞きします。
 - ① 更新された津波情報を入手しましたか。
 - ② 入手した情報において、予想される津波の高さは何m（または何m以上）でしたか。

	岩手県	宮城県	福島県
1回目	3m	6m	3m
2回目	6m	10m以上	6m
3回目	10m以上	10m以上	10m以上

- 自治体から「避難指示・勧告」が発令されていますが、このような情報をどのような手段を用いて入手されましたか。また、自治体から連絡はありましたか。

問4:

情報を入手した後の対応についてお聞きします。

- 入手した情報は、どのような役割の方に、どのような手段で伝達することになっていましたか。
- 入手した情報を関係委員（民生委員など）や住民に対して伝達しましたか。伝達した場合、どのような手段で伝達しましたか。

問5:

地震が発生した後、自治体が防災行政無線（屋外、戸別）で、避難の呼びかけをしていますが、その呼びかけを聞きましたか。

(5) 避難行動及び避難誘導

問1:

避難の誘導についてお聞きします。

- 貴自治会では、災害時に避難の誘導をすることになっていましたか。

問2:

避難誘導の規程と実際にされた行動についてお聞きします。（避難誘導の規程がない場合、実際

にされた行動についてお答え下さい。)

- 貴自治会の避難誘導とは、どのようなことですか。(連絡まで、避難誘導まで)
- 貴自治会において、避難の呼びかけをすることになっていましたか。
- 避難の誘導は、どのようなタイミングで開始することになっていましたか。
- 避難誘導の際の移動手段を決めていましたか。
- 災害時要援護者への対応は、どのように行うことになっていましたか。
- 避難者を誘導する場所を決めていましたか。(自治体の指定避難場所、周辺の高台など)
- 避難誘導の際、車の渋滞や瓦礫の発生など、避難の障害になるものはありましたか。
- 避難誘導をしている担当者自らが避難するルールは決まっていたか。避難のタイミングや避難場所について教えて下さい。

問3:

避難行動、避難誘導などの対応に津波に関する情報(津波警報や観測情報など)は入手できていましたか。入手できていない場合、入手できないことで問題はありましたか。

(6)防災活動

問1:

貴自治会が管理を委託されている水門・陸閘はありますか。委託されている場合、実際に閉鎖に要した時間を教えて下さい。

- 水門・陸閘の閉鎖操作中に津波の被害に遭い、被災された住民の方はいますか。

問2:

河川の水門操作や防潮堤の門扉の開閉操作について、運用規程などはありますか。ある場合は、運用規程の写しをいただけると幸いです。

(7)地震や津波の経験

問1:

平成22年2月28日にチリ中部沿岸を震源とする地震が発生し、津波警報(大津波)が発表されましたが、その時の対応について教えて下さい。

問2:

今回の地震の2日前(3月9日)に三陸沖地震が発生し、津波注意報が発表されましたが、その時の対応について教えて下さい。

問3:

過去の津波経験が、今回の避難誘導や防災活動に影響を与えたと思いますか。また、その経験はどのように働きましたか。

(8)津波発生前の防災活動

問1:

自治会として、津波災害を考慮した避難ルールを定めていましたか。

(例:避難時に近隣へ声をかける、避難したことがわかるように自宅に目印をつける 等)

問2:

災害時における自治体との連携体制はどのようになっていましたか。それは、津波災害を考慮した連携体制ですか。

問3:

自治会が作成している「津波ハザードマップ」を知っていますか。

- 津波ハザードマップをどのように活用していましたか。

問4:

津波避難訓練や津波防災に関する研修についてお聞きします。

- 貴自治会では、地域の津波防災マップを作成していましたか。作成されている場合、自治会の住民全員に配布していましたか。

- 貴自治会では、津波避難訓練や津波防災に関する研修などに参加していましたか。
- 津波避難訓練や研修の内容について、具体的に教えてください。
- 訓練と実際の対応で違いはありましたか。今後、必要だと考える訓練はどのようなことですか。

問5：

災害時要援護者の場所などを把握していましたか。また、その情報を自治体に報告していましたか。

問6：

災害時要援護者の避難誘導先は決められていましたか。

問7：

今回の震災において、これまで行ってきた取り組みの効果があつた事例があれば教えてください。

(9) 今後の課題

問1：

今回の震災を受けて、今後、準備をしておくべきことがあれば教えてください。（資機材、情報等）

問2：

今回の震災を受けて、今後の津波防災対策にはどのようなことが必要だと考えていますか。

ご協力いただき、誠にありがとうございました。

地震・津波時の避難行動等に関するヒアリング調査内容 (学校対象)

(1)基礎情報(平成 23 年 3 月 11 日現在でお答え下さい)

問1:

貴校で働く職員数と各学年の生徒数を教えてください。

問2:

貴校では、防災について担当する職員がいますか。

(2)被災状況

問1:

3月11日14時46分頃に地震が発生しましたが、貴校では、地震発生からどのくらい経過した後、に停電しましたか。

問2:

当日、勤務されていた職員・生徒や校舎の被害についてお聞きします。

(1)当日、勤務されていた職員・生徒の被害についてお聞きします。

- 当日、勤務されていた職員・生徒に被害はありましたか。
- 死亡・行方不明・ケガ等の状況について教えてください。
- 地震が発生した時、生徒の多くは何をしていましたか。(授業中、下校など)

(2)校舎の被害についてお聞きします。

- 校舎に被害はありましたか。地震による被害、津波による被害について教えてください。
- 被害のあった校舎では、津波はどのくらいの高さ(m)まで来ましたか。それは校舎の何階部分に相当しますか。
- 被害にあった後者の構造及び階数について教えてください。

(3)初動体制

問1:

初動体制についてお聞きします。非常時の体制系統図についてまとめた資料がある場合は、その写しをいただくと幸いです。

- 3月11日14時46分頃に地震が発生しましたが、大きな揺れを感じる前に気象庁から「緊急地震速報」が発表され、約3分後には「地震情報」が発表されています。貴校では、地震が発生した時、どのような対応をとることになっていましたか。
 - ① 地震発生時
 - ② 地震で揺れている間(例:机の下などに身を隠し、生徒の安全を守ろうとした)
 - ③ 地震の揺れがおさまった後(例:生徒の安否の確認を行った)

問2:

「大津波警報」が発表された時の対応についてお聞きします。

- 貴校では、大津波警報が発表された時、どのような対応をとることになっていましたか。

問3:

職員の参集についてお聞きします。

- 貴校では、地震発生直後に職員の参集を行いましたか。当日の地震発生から大津波警報が発表される前までの間でお答え下さい。
- 参集した職員の範囲はどの範囲ですか。あらかじめ決められていた範囲ですか。
- 職員が集合するのに、どのくらいの時間がかかりましたか。
- どのようなことを協議しましたか。
- 協議について、決定した人は誰ですか。

問4:

今回の震災において、事前の計画通りに初動体制をとることができましたか。その時に障害になったことがあれば、教えて下さい。

(4)情報入手・伝達

問1:

「緊急地震速報」についてお聞きします。

- 緊急地震速報が発表されましたが、入手しましたか。入手していない場合は、その理由を教えてください。
- どのような手段で入手しましたか。(ex.携帯電話、テレビ、緊急地震速報機器など)
- 入手された方にお聞きします。緊急地震速報を入手した後、どのような行動をしましたか。

問2:

「地震情報（震度、マグニチュード、震源等）」についてお聞きします。

- 気象庁から地震情報が発表されましたが、その情報を入手しましたか。入手していない場合は、その理由を教えてください。
- どのような手段で入手しましたか。(ex.携帯電話、テレビ、ラジオなど)

問3:

「津波情報」についてお聞きします。

- 地震発生から約3分後に「大津波警報」が発表されていますが、どんな手段でその情報を入手しましたか、また、そのうち一番最初にどこから入手しましたか。
(ex.テレビ、ラジオ、防災行政無線、携帯電話(iモード等)、携帯電話(ワンセグ)など)
- 入手した「津波情報」の内容について教えてください。

	岩手県	宮城県	福島県
津波警報	大津波	大津波	大津波
第1波到達 予想時刻	到達と推測	午後3:00	午後3:10
予想される 津波の高さ	3m	6m	3m

- 気象庁が発表した「津波情報」は、数回にわたり情報が更新されました。その情報についてお聞きします。
 - ① 更新された津波情報を入手しましたか。
 - ② 入手した情報において、予想される津波の高さは何m（または何m以上）でしたか。

	岩手県	宮城県	福島県
1回目	3m	6m	3m
2回目	6m	10m以上	6m
3回目	10m以上	10m以上	10m以上

- 自治体から「避難勧告・指示」が発令されていますが、このような情報をどのような手段を用いて入手されましたか。また、それは自動的に受信できるような仕組みになっていましたか。
※学校によっては、自治体から情報を送信している場合があります。

- 自治体では、防災行政無線を通じて避難の呼びかけを行っています。その呼びかけを聞きましたか。

問4:

情報を入手した後の対応についてお聞きします。

- 気象庁から発表された「緊急地震速報」「地震情報」「大津波警報」や、自治体から発令され

た「避難勧告・指示」を職員または生徒に伝えましたか。その場合、どのような手段を用いて伝えましたか。

- その情報を伝えたのは、地震が発生してからどのくらい経過していましたか。(何分くらい)

問5:

生徒の保護者へ連絡をしましたか。それは、非常時の対応に基づいたものですか。

- 生徒を迎えに来た保護者に対して、どのような対応をしましたか。

(5)避難行動及び避難誘導

問1:

避難誘導の規程と実際にされた行動についてお聞きします。避難誘導の規程がない場合、実際にされた行動についてお答え下さい。

津波災害時の避難誘導についてまとめた資料がある場合は、その写しをいただくと幸いです。

- 避難の誘導は、どのようなタイミングで開始することになっていましたか。
- 避難はどのような単位で行うことになっていましたか。
- (例：低学年・高学年で誘導を分ける、数人のグループに分かれる 等)
- 避難の手段を決めていましたか。(例：徒歩、車、バス 等)
- 職員同士のやり取りは、どのような手段を用いて行うことになっていましたか。今回、双方のやり取りに障害はありませんでしたか。
- 避難先を決めていましたか。(例：自治体の指定避難場所、貴校が独自で定めた場所)
- 避難誘導の際、車の渋滞や瓦礫の発生など、避難の障害になるものはありましたか。

問2:

避難行動、避難誘導などの対応に津波に関する情報(津波警報や観測情報など)は入手できていましたか。入手できていない場合、入手できないことで問題はありましたか。

問3:

当初避難した場所から更に違う場所に避難された場合にお聞きします。

- 違う場所へ避難すると判断した理由は何ですか。

(6)地震や津波の経験

問1:

平成22年2月28日にチリ中部沿岸を震源とする地震が発生し、津波警報(大津波)が発表されました。その時の対応について教えてください。

※いわき市、相馬市では津波警報(津波)が発表されました

問2:

今回の地震の2日前(3月9日)に三陸沖地震が発生し、津波注意報が発表されましたが、その時の対応について教えてください。

問3:

過去の津波経験が、今回の避難誘導に影響を与えたと思いますか。また、その経験はどのように働きましたか。

(7)津波発生前の防災活動

問1:

災害時における自治体や地域との連携体制はどのようになっていましたか。津波災害における連携体制も考えていましたか。

問2:

災害時にどのような機関へ連絡することになっていきますか。外部への情報伝達体制について教えてください。

問3:

貴校では、職員や生徒に対する災害時の避難に関するルールを定めていましたか。また、そのル

ールは津波災害を考慮したものです。避難についてまとめた資料がある場合は、その写しをいただけると幸いです。

問4:

自治体が作成している「津波ハザードマップ」を知っていますか。

- 津波ハザードマップをどのように活用していましたか。

問5:

津波避難訓練についてお聞きします。

- 貴校では、津波防災に関する避難訓練を実施していましたか。
- 避難訓練を実施されていた学校へお聞きします。訓練の内容について、具体的に教えて下さい。
- 訓練と実際の対応で違いはありましたか。今後、必要だと考える訓練はどのようなことですか。

問6:

津波防災教育についてお聞きします。

- 貴校では、津波防災教育を行っていましたか。教材がある場合は、その写しをいただけると幸いです。
- 今後の津波防災教育には、どのようなことが必要だと考えていますか。

問7:

今回の震災において、これまで行ってきた取り組みの効果があつた事例があれば教えてください。

(8)今後の課題

問1:

今回の震災を受けて、今後、準備をしておくべきことがあれば教えてください。(資機材、情報等)

問2:

今回の震災を受けて、今後の津波防災対策にはどのようなことが必要だと考えていますか。

ご協力いただき、誠にありがとうございました。

地震・津波時の避難誘導等に関するヒアリング調査内容 (病 院 対 象)

(1)基礎情報(平成 23 年 3 月 11 日現在でお答え下さい)

問1:

貴院で働く職員数と入院されている患者数、1日あたりの平均外来患者数を教えてください。

問2:

入院されている患者のうち、①ご自身で動くことが難しい方、②絶対安静や特別な医療機器等が必要なために動くことが難しい方は、何名いますか。詳細な人数が分からない場合は、概ねの人数で結構です。

問3:

貴院では、防災について担当する職員がいますか。

問4:

非常電源設備についてお聞きします。

- 非常用発電機を設置していますか
- 設置している場合、発電機が何台ありますか。また、どこに設置していますか。
- 非常時に全体の電力のうち、どのくらいカバーできるものですか。
- 今回、地震による停電が起きましたが、非常用発電機は機能しましたか(運転時間等)。

(2)被災状況

問1:

3月11日14時46分頃に地震が発生しましたが、貴院では、地震発生からどのくらい経過した後、に停電しましたか。

問2:

当日、勤務されていた職員や患者の方、建物の被害についてお聞きします。

(1)当日、勤務されていた職員や患者の被害についてお聞きします。

- 当日、勤務されていた職員や患者の方に被害はありましたか。
- 死亡・行方不明・ケガ等の状況について教えてください。
- 人的被害が大きかった場所について教えてください。

(2)建物の被害についてお聞きします。

- 貴院に被害はありましたか。地震による被害、津波による被害について教えてください。
- 被害のあった建物では、津波はどのくらいの高さ(m)まで来ましたか。
- 被害にあった建物の構造及び階数について教えてください。

(3)初動体制

問1:

初動体制についてお聞きします。非常時の体制系統図がある場合は、その写しをいただくと幸いです。

- 3月11日14時46分頃に地震が発生しましたが、大きな揺れを感じる前に気象庁から「緊急地震速報」が発表され、約3分後には「地震情報」が発表されています。貴院では、地震が発生した時、どのような対応をとることになっていましたか。
 - ① 地震発生時(例:電源を非常用電源に切り替えた)
 - ② 地震で揺れている間(例:机の下などに身を隠し、患者の安全を守ろうとした)
 - ③ 地震の揺れがおさまった後(例:職員や患者の安否の確認を行った)

問2:

「大津波警報」が発表された時の体制についてお聞きします。

- 貴院では、「大津波警報」が発表された時、どのような対応をとることになっていましたか。

問3:

職員の参集についてお聞きします。

- 貴院では、地震発生直後に職員の参集を行いましたか。当日の地震発生から大津波警報が発表される前までの間でお答え下さい。
- 参集した職員の範囲はどの範囲ですか。あらかじめ決められていた範囲ですか。
- 職員が集合するのに、どのくらいの時間がかかりましたか。
- どのようなことを協議しましたか。
- 協議について、決定した人は誰ですか。

問4:

今回の震災において、事前の計画通りに初動体制をとることができましたか。その時に障害になったことがあれば、教えて下さい。

(4)情報入手・伝達

問1:

「緊急地震速報」についてお聞きします。

- 緊急地震速報が発表されましたが、入手しましたか。入手していない場合は、その理由を教えてください。
- どのような手段で入手しましたか。(ex.携帯電話、テレビ、緊急地震速報機器など)
- 入手された方にお聞きします。緊急地震速報を入手した後、どのような行動をしましたか。

問2:

「地震情報（震度、マグニチュード、震源等）」についてお聞きします。

- 気象庁から地震情報が発表されましたが、その情報を入手しましたか。入手していない場合は、その理由を教えてください。
- どのような手段で入手しましたか。(ex.携帯電話、テレビ、ラジオなど)

問3:

「津波情報」についてお聞きします。

- 地震発生から約3分後に「大津波警報」が発表されていますが、どんな手段でその情報を入手しましたか、また、そのうち一番最初にどこから入手しましたか。
(ex.テレビ、ラジオ、防災行政無線、携帯電話(iモード等)、携帯電話(ワンセグ)など)
- 入手した「津波情報」の内容について教えてください。

	岩手県	宮城県	福島県
津波警報	大津波	大津波	大津波
第1波到達 予想時刻	到達と推測	午後3:00	午後3:10
予想される 津波の高さ	3m	6m	3m

- 気象庁が発表した「津波情報」は、数回にわたり情報が更新されました。その情報についてお聞きします。
 - ⑤ 更新された津波情報を入手しましたか。
 - ⑥ 入手した情報において、予想される津波の高さは何m（または何m以上）でしたか。

	岩手県	宮城県	福島県
1回目	3m	6m	3m
2回目	6m	10m以上	6m
3回目	10m以上	10m以上	10m以上

- 自治体から「避難勧告・指示」が発令されていますが、このような情報をどのような手段を用いて入手されましたか。また、それは自動的に受信できるような仕組みになっていましたか。
※病院によっては、自治体から情報を送信している場合があります。

- 自治体では、防災行政無線を通じて避難の呼びかけを行っています。その呼びかけを聞きましたか。

問4:

情報を入手した後の対応についてお聞きします。

- 気象庁から発表された「緊急地震速報」「地震情報」「大津波警報」や、自治体から発令された「避難勧告・指示」を職員または患者に伝えましたか。その場合、どのような手段を用いて伝えましたか。
- その情報を伝えたのは、地震が発生してからどのくらい経過していましたか。(何分くらい)

問5:

患者のご家族へ連絡をしましたか。それは、非常時の対応に基づいたものですか。

- 患者を迎えに来たご家族に対して、どのような対応をしましたか。

(5)避難行動及び避難誘導

問1:

避難誘導の規程と実際にされた行動についてお聞きします。避難誘導の規程がない場合、実際にされた行動についてお答え下さい。

津波災害時の避難誘導についてまとめた資料がある場合は、その写しをいただけると幸いです。

- 避難の誘導は、どのようなタイミングで開始することになっていましたか。
- 入院されている患者ごとに誘導者を決めていましたか。
- 避難はどのような単位で行うことになっていましたか。(例：患者1人に対し職員2人体制等)
- 避難の手段を決めていましたか。(例：日常生活全般において介助が必要な人は車、バス 等)
- 職員同士のやり取りは、どのような手段を用いて行うことになっていましたか。今回、双方のやり取りに障害はありませんでしたか。
- 避難先を決めていましたか。
- (例：上階または屋上、自治体の指定避難場所、貴院が独自で定めた場所 等)
- 避難誘導の際、車の渋滞や瓦礫の発生など、避難の障害になるものはありましたか。

問2:

避難行動、避難誘導などの対応に津波に関する情報(津波警報や観測情報など)は入手できていましたか。入手できていない場合、入手できないことで問題はありましたか。

問3:

当初避難した場所から更に違う場所に避難された場合にお聞きします。

- 違う場所へ避難すると判断した理由は何ですか。

(6)地震や津波の経験

問1:

平成22年2月28日にチリ中部沿岸を震源とする地震が発生し、津波警報(大津波)が発表されました。その時の対応について教えてください。

※いわき市、相馬市では津波警報(津波)が発表されました

問2:

今回の地震の2日前(3月9日)に三陸沖地震が発生し、津波注意報が発表されましたが、その時の対応について教えてください。

問3:

過去の津波経験が、今回の避難誘導に影響を与えたと思いますか。また、その経験はどのように働きましたか。

(7)津波発生前の防災活動

問1:

災害時における自治体や地域との連携体制はどのようになっていましたか。津波災害における連携体制も考えていましたか。

問2:

災害時にどのような機関へ連絡することになっていきますか。外部への情報伝達体制について教えてください。

問3:

貴院では、職員や患者の避難に関するルールを定めていましたか。また、そのルールは津波災害を考慮したものです。避難についてまとめた資料がある場合は、その写しをいただくと幸いです。

問4:

自治体が作成している「津波ハザードマップ」を知っていますか。

- 津波ハザードマップをどのように活用していましたか。

問5:

津波避難訓練についてお聞きします。

- 貴院では、津波防災に関する避難訓練を実施していましたか。
- 避難訓練を実施されていた病院へお聞きします。訓練の内容について、具体的に教えてください。
- 訓練と実際の対応で違いがありましたか。今後の津波避難訓練には、どのようなことが必要だと考えていますか。

問6:

貴院では内部に防災委員会などを設置していましたか。また、設置していた場合、どのような所属、職種の方が担当していましたか。委員会の人数についても教えてください。

問7:

今回の震災において、これまで行ってきた取り組みの効果があつた事例があれば教えてください。

(8)今後の課題

問1:

今回の震災を受けて、今後、準備をしておくべきことがあれば教えてください。(資機材、情報等)

問2:

今回の震災を受けて、今後の津波防災対策にはどのようなことが必要だと考えていますか。

ご協力いただき、誠にありがとうございました。

地震・津波時の避難行動等に関するヒアリング調査内容 (社会福祉施設対象)

(1)基礎情報(平成 23 年 3 月 11 日現在でお答え下さい)

問1:

貴施設で働く職員数を教えてください。

- 入居されている方の人数を要支援・要介護レベルごとに教えてください。詳細な人数が分からない場合は、概ねの人数で構いません。

※要支援:常時介護を要する状態の軽減、もしくは悪化防止のために、支援を要する状態のこと
要介護:2週間以上の期間にわたり、常時介護を必要とする状態のこと

問2:

貴施設では、防災について担当する職員がいますか。

問3:

非常電源設備についてお聞きします。

- 非常用発電機を設置していますか
- 設置している場合、発電機が何台ありますか。また、どこに設置していますか。
- 非常時に全体の電力のうち、どのくらいカバーできるものですか。
- 今回、地震による停電が起きましたが、非常用発電機は機能しましたか(運転時間等)。

(2)被災状況

問1:

3月11日14時46分頃に地震が発生しましたが、貴施設では、地震発生からどのくらい経過した後、に停電しましたか。

問2:

当日、勤務されていた職員や入居されていた方、施設の被害についてお聞きします。

(1)当日、勤務されていた職員・入所されていた方の被害についてお聞きします。

- 当日、勤務されていた職員・入居されていた方に被害はありましたか。
- 死亡・行方不明・ケガ等の状況について教えてください。

(2)施設の被害についてお聞きします。

- 施設に被害はありましたか。地震による被害、津波による被害について教えてください。
- 被害のあった施設では、津波はどのくらいの高さ(m)まで来ましたか。
- 被害にあった建物の構造及び階数について教えてください。

(3)初動体制

問1:

初動体制についてお聞きします。非常時の体制系統図がある場合は、その写しをいただくと幸いです。

- 3月11日14時46分頃に地震が発生しましたが、大きな揺れを感じる前に気象庁から「緊急地震速報」が発表され、約3分後には「地震情報」が発表されています。貴施設では、地震が発生した時、どのような対応をとることになっていましたか。
 - ① 地震発生時(例:電源を非常用電源に切り替えた)
 - ② 地震で揺れている間(例:机の下などに身を隠し、入居者の安全を守ろうとした)
 - ③ 地震の揺れがおさまった後(例:職員や入居者の安否の確認を行った)

問2:

「大津波警報」が発表された時の体制についてお聞きします。

- 貴施設では、「大津波警報」が発表された時、どのような対応をとることになっていましたか。

問3:

職員の参集についてお聞きします。

- 貴施設では、地震発生直後に職員の参集を行いましたか。当日の地震発生から大津波警報が発表される前までの間でお答え下さい。
- 参集をした職員の範囲はどの範囲ですか。あらかじめ決められていた範囲ですか。
- 職員が集合するのに、どのくらいの時間がかかりましたか。
- どのようなことを協議しましたか。
- 協議について、決定した人は誰ですか。

問4:

今回の震災において、事前の計画通りに初動体制をとることができましたか。その時に障害になったことがあれば、教えて下さい。

(4)情報入手・伝達

問1:

「緊急地震速報」についてお聞きします。

- 緊急地震速報が発表されましたが、入手しましたか。入手していない場合は、その理由を教えてください。
- どのような手段で入手しましたか。(ex.携帯電話、テレビ、緊急地震速報機器など)
- 入手された方にお聞きします。緊急地震速報を入手した後、どのような行動をしましたか。

問2:

「地震情報（震度、マグニチュード、震源等）」についてお聞きします。

- 気象庁から地震情報が発表されましたが、その情報を入手しましたか。入手していない場合は、その理由を教えてください。
- どのような手段で入手しましたか。(ex.携帯電話、テレビ、ラジオなど)

問3:

「津波情報」についてお聞きします。

- 地震発生から約3分後に「大津波警報」が発表されていますが、どんな手段でその情報を入手しましたか、また、そのうち一番最初にどこから入手しましたか。
(ex.テレビ、ラジオ、防災行政無線、携帯電話(iモード等)、携帯電話(ワンセグ)など)
- 入手した「津波情報」の内容について教えてください。

	岩手県	宮城県	福島県
津波警報	大津波	大津波	大津波
第1波到達 予想時刻	到達と推測	午後 3:00	午後 3:10
予想される 津波の高さ	3m	6m	3m

- 気象庁が発表した「津波情報」は、数回にわたり情報が更新されました。その情報についてお聞きします。

- ① 更新された津波情報を入手しましたか。
- ② 入手した情報において、予想される津波の高さは何m（または何m以上）でしたか。

	岩手県	宮城県	福島県
1回目	3m	6m	3m
2回目	6m	10m以上	6m
3回目	10m以上	10m以上	10m以上

- 自治体から「避難勧告・指示」が発令されていますが、このような情報をどのような手段を用いて入手されましたか。また、それは自動的に受信できるような仕組みになっていましたか。

※社会福祉施設によっては、自治体から情報を送信している場合があります。

- 自治体では、防災行政無線を通じて避難の呼びかけを行っています。その呼びかけを聞きましたか。

問4:

情報を入手した後の対応についてお聞きします。

- 気象庁から発表された「緊急地震速報」「地震情報」「大津波警報」や、自治体から発令された「避難勧告・指示」を職員または入居者に伝えましたか。その場合、どのような手段を用いて伝えましたか。
- その情報を伝えたのは、地震が発生してからどのくらい経過していましたか。(何分くらい)

問5:

入居されている方のご家族へ連絡をしましたか。それは、非常時の対応に基づいたものですか。

- 入居者を迎えに来たご家族に対して、どのような対応をしましたか。

(5)避難行動及び避難誘導

問1:

避難誘導の規程と実際にされた行動についてお聞きします。避難誘導の規程がない場合、実際にされた行動についてお答え下さい。

津波災害時の避難誘導についてまとめた資料がある場合は、その写しをいただくと幸いです。

- 避難の誘導は、どのようなタイミングで開始することになっていましたか。
- 入居者ごとに(要介護レベルごとに)誘導者は決めていましたか。
- 避難はどのような単位で行うことになっていましたか。(例:入居者1人に対し職員2人体制等)
- 避難の手段を決めていましたか。(例:日常生活全般において介助が必要な人は車、バス 等)
- 職員同士のやり取りは、どのような手段を用いて行うことになっていましたか。今回、双方のやり取りに障害はありませんでしたか。
- 避難先を決めていましたか。
- (例:上階または屋上、自治体の指定避難場所、貴施設が独自で定めた場所 等)
- 避難誘導の際、車の渋滞や瓦礫の発生など、避難の障害になるものはありましたか。

問2:

避難行動、避難誘導などの対応に津波に関する情報(津波警報や観測情報など)は入手できていましたか。入手できていない場合、入手できないことで問題はありましたか。

問3:

当初避難した場所から更に違う場所に避難された場合にお聞きします。

- 違う場所へ避難すると判断した理由は何ですか。

(6)地震や津波の経験

問1:

平成22年2月28日にチリ中部沿岸を震源とする地震が発生し、津波警報(大津波)が発表されました。その時の対応について教えてください。

※いわき市、相馬市では津波警報(津波)が発表されました

問2:

今回の地震の2日前(3月9日)に三陸沖地震が発生し、津波注意報が発表されましたが、その時の対応について教えてください。

問3:

過去の津波経験が、今回の避難誘導に影響を与えたと思いますか。また、その経験はどのように働きましたか。

(7)津波発生前の防災活動

問1:

災害時における自治体や地域との連携体制はどのようになっていましたか。津波災害における連携体制も考えていましたか。

問2:

災害時にどのような機関へ連絡することになっていきますか。外部への情報伝達体制について教えてください。

問3:

貴施設では、職員や入居者の避難に関するルールを定めていましたか。また、そのルールは津波災害を考慮したものですか。避難についてまとめた資料がある場合は、その写しをいただくと幸いです。

問4

自治体が作成している「津波ハザードマップ」を知っていますか。

- 津波ハザードマップをどのように活用していましたか。

問5:

津波避難訓練についてお聞きします。

- 貴施設では、津波防災に関する避難訓練を実施していましたか。
- 避難訓練を実施されていた施設へお聞きします。訓練の内容について、具体的に教えてください。
- 訓練と実際の対応で違いがありましたか。今後の津波避難訓練には、どのようなことが必要だと考えていますか。

問6:

今回の震災において、これまで行ってきた取り組みの効果があつた事例があれば教えてください。

問7:

貴施設では内部に防災委員会などを設置していましたか。また、設置していた場合、どのような職種の方が担当していましたか。委員会の人数についても教えてください。

(8)今後の課題

問1:

今回の震災を受けて、今後、準備をしておくべきことがあれば教えてください。(資機材、情報等)

問2:

今回の震災を受けて、今後の津波防災対策にはどのようなことが必要だと考えていますか。

ご協力いただき、誠にありがとうございました。

地震・津波時の避難行動等に関するヒアリング調査内容 (保育所)

(1)基礎情報(平成 23 年 3 月 11 日現在でお答え下さい)

問1:

貴施設で働く職員数を教えてください。

問2:

貴施設では、防災について担当する職員がいますか。

問3:

非常電源設備についてお聞きします。

- 非常用発電機を設置していますか
- 設置している場合、発電機が何台ありますか。また、どこに設置していますか。
- 非常時に全体の電力のうち、どのくらいカバーできるものですか。
- 今回、地震による停電が起きましたが、非常用発電機は機能しましたか（運転時間等）。

(2)被災状況

問1:

3月11日14時46分頃に地震が発生しましたが、貴施設では、地震発生からどのくらい経過した後に停電しましたか。

問2:

当日、勤務されていた職員や入居されていた方、施設の被害についてお聞きします。

(1)当日、勤務されていた職員・入所されていた方の被害についてお聞きします。

- 当日、勤務されていた職員・入居されていた方に被害はありましたか。
- 死亡・行方不明・ケガ等の状況について教えてください。

(2)施設の被害についてお聞きします。

- 施設に被害はありましたか。地震による被害、津波による被害について教えてください。
- 被害のあった施設では、津波はどのくらいの高さ（m）まで来ましたか。それは施設の何階部分に相当しますか。

(3)初動体制

問1:

初動体制についてお聞きします。非常時の体制系統図がある場合は、その写しをいただくと幸いです。

- 3月11日14時46分頃に地震が発生しましたが、大きな揺れを感じる前に気象庁から「緊急地震速報」が発表され、約3分後には「地震情報」が発表されています。貴施設では、地震が発生した時、どのような対応をとることになっていましたか。
 - ① 地震発生時（例：電源を非常用電源に切り替えた）
 - ② 地震で揺れている間（例：机の下などに身を隠し、園児の安全を守ろうとした）
 - ③ 地震の揺れがおさまった後（例：職員の安否の確認を行った）

問2:

「大津波警報」が発表された時の体制についてお聞きします。

- 貴施設では、「大津波警報」が発表された時、どのような対応をとることになっていましたか。

問3:

職員の参集についてお聞きします。

- 貴施設では、地震発生直後に職員の参集を行いましたか。当日の地震発生から大津波警報が発表される前までの間でお答え下さい。
- 参集をした職員の範囲はどの範囲ですか。あらかじめ決められていた範囲ですか。

- 職員が集合するのに、どのくらいの時間がかかりましたか。
- どのようなことを協議しましたか。
- 協議について、決定した人は誰ですか。

問4:

今回の震災において、事前の計画通りに初動体制をとることができましたか。その時に障害になったことがあれば、教えて下さい。

(4)情報入手・伝達

問1:

「緊急地震速報」についてお聞きします。

- 緊急地震速報が発表されましたが、入手しましたか。入手していない場合は、その理由を教えてください。
- どのような手段で入手しましたか。(ex.携帯電話、テレビ、緊急地震速報機器など)
- 入手された方にお聞きします。緊急地震速報を入手した後、どのような行動をしましたか。

問2:

「地震情報（震度、マグニチュード、震源等）」についてお聞きします。

- 気象庁から地震情報が発表されましたが、その情報を入手しましたか。入手していない場合は、その理由を教えてください。
- どのような手段で入手しましたか。(ex.携帯電話、テレビ、ラジオなど)

問3:

「津波情報」についてお聞きします。

- 地震発生から約3分後に「大津波警報」が発表されていますが、どんな手段でその情報を入手しましたか、また、そのうち一番最初にどこから入手しましたか。
(ex.テレビ、ラジオ、防災行政無線、携帯電話(iモード等)、携帯電話(ワンセグ)など)
- 入手した「津波情報」の内容について教えてください。

	岩手県	宮城県	福島県
津波警報	大津波	大津波	大津波
第1波到達 予想時刻	到達と推測	午後 3:00	午後 3:10
予想される 津波の高さ	3m	6m	3m

- 気象庁が発表した「津波情報」は、数回にわたり情報が更新されました。その情報についてお聞きします。
 - ① 更新された津波情報を入手しましたか。
 - ② 入手した情報において、予想される津波の高さは何m（または何m以上）でしたか。

	岩手県	宮城県	福島県
1回目	3m	6m	3m
2回目	6m	10m以上	6m
3回目	10m以上	10m以上	10m以上

- 自治体から「避難勧告・指示」が発令されていますが、このような情報をどのような手段を用いて入手されましたか。また、それは自動的に受信できるような仕組みになっていましたか。

※施設によっては、自治体から情報を送信している場合があります。

- 自治体では、防災行政無線を通じて避難の呼びかけを行っています。その呼びかけを聞き取ったか。

問4:

情報を入力した後の対応についてお聞きします。

- 気象庁から発表された「緊急地震速報」「地震情報」「大津波警報」や、自治体から発令された「避難勧告・指示」を職員に伝えましたか。その場合、どのような手段を用いて伝えましたか。
- その情報を伝えたのは、地震が発生してからどのくらい経過していましたか。(何分くらい)

問5:

園児のご家族へ連絡をしましたか。それは、非常時の対応に基づいたものですか。

- 園児を迎えに来たご家族に対して、どのような対応をしましたか。

(5)避難行動の支援

問1:

避難誘導の規程と実際にされた行動についてお聞きします。避難誘導の規程がない場合、実際にされた行動についてお答え下さい。

津波災害時の避難誘導についてまとめた資料がある場合は、その写しをいただけると幸いです。

- 避難の誘導は、どのようなタイミングで開始することになっていましたか。
- 避難はどのような単位で行うことになっていましたか。
- 避難の手段を決めていましたか。(例：車、バス 等)
- 職員同士のやり取りは、どのような手段を用いて行うことになっていましたか。今回、双方のやり取りに障害はありませんでしたか。
- 避難先を決めていましたか。
- (例：上階または屋上、自治体の指定避難場所、貴施設が独自で定めた場所 等)
- 避難誘導の際、車の渋滞や瓦礫の発生など、避難の障害になるものはありましたか。

問2:

避難行動、避難誘導などの対応に津波に関する情報(津波警報や観測情報など)は入手できていましたか。入手できていない場合、入手できないことで問題はありましたか。

問3:

当初避難した場所から更に違う場所に避難された場合にお聞きします。

- 違う場所へ避難すると判断した理由は何ですか。

(6)地震や津波の経験

問1:

平成22年2月28日にチリ中部沿岸を震源とする地震が発生し、津波警報(大津波)が発表されました。その時の対応について教えてください。

※いわき市、相馬市では津波警報(津波)が発表されました

問2:

今回の地震の2日前(3月9日)に三陸沖地震が発生し、津波注意報が発表されましたが、その時の対応について教えてください。

問3:

過去の津波経験が、今回の避難誘導に影響を与えたと思いますか。また、その経験はどのように働きましたか。

(7)津波発生前の防災活動

問1:

災害時における自治体や地域との連携体制はどのようになっていますか。津波災害における連携体制も考えていましたか。

問2:

災害時にどのような機関へ連絡することになっていますか。外部への情報伝達体制について教えてください。

問3:

貴施設では、職員や園児の避難に関するルールを定めていましたか。また、そのルールは津波災害を考慮したものですか。避難についてまとめた資料がある場合は、その写しをいただくと幸いです。

問4:

自治体が作成している「津波ハザードマップ」を知っていますか。

- 津波ハザードマップをどのように活用していましたか。

問5:

津波避難訓練についてお聞きします。

- 貴施設では、津波防災に関する避難訓練を実施していましたか。
- 避難訓練を実施されていた施設へお聞きします。訓練の内容について、具体的に教えてください。
- 訓練と実際の対応で違いはありましたか。今後の津波避難訓練には、どのようなことが必要だと考えていますか。

問6:

今回の震災において、これまで行ってきた取り組みの効果があつた事例があれば教えてください。

問7:

貴施設では内部に防災委員会などを設置していましたか。また、設置していた場合、どのような職種の方が担当していましたか。委員会の人数についても教えてください。

(8) 今後の課題

問1:

今回の震災を受けて、今後、準備をしておくべきことがあれば教えてください。(資機材、情報等)

問2:

今回の震災を受けて、今後の津波防災対策にはどのようなことが必要だと考えていますか。

ご協力いただき、誠にありがとうございました。